



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和3年5月6日 第2号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



思いを寄せる、思いを巡らす

校長 小野満 賢

感染予防対策のため、長らく行えていなかった吹奏楽の授業が先日行われました。「全校吹奏楽」は本校の特色ある教育活動の一つで、今年度は総勢71名で取り組むことになります。この日は1・2年生合同の授業で、2年生が自分たちの担当している楽器を紹介した後、1年生に興味のある楽器を体験してもらうという内容でした。1年生の多くは中学校に入学して初めて触れる管楽器に興味津々で、2年生から扱い方や音の出し方を教えてもらい、早速音が出るかどうかを試していました。私が感心したのは、先輩になった2年生の教え方がとても上手だったことです。この学年はもともと面倒見のいい生徒が多いのですが、マスク越しにもかかわらず優しい笑顔で、1年生一人一人に声をかけ、丁寧に分かりやすく教えていました。おそらく、2年生は1年生の時に先輩から優しく教えてもらったのでしょう。その時の感動や嬉しかった思いを「恩送り」として今度は後輩に伝えてくれたのだと思います。きっとこの1年生も、来年入学してくる後輩たちに繋げてくれるのでしょう。改めてこの縦割りの活動の良さを感じました。同時に、顔の半分以上を覆うマスクが無かったなら、と思ったのも事実です。2年生の優しさも1年生の嬉しさも、もっともっと伝わったに違いありません。



4月25日に東京・大阪・京都・兵庫の4都府県に三度目となる緊急事態宣言が発出されました。感染力の強い変異型のウイルスが拡がりつつある今、医療の崩壊を招かないようにすることを第一に考え、多くの方々がこの措置に従い、努力を続けています。小笠原に住む私たちもまた、感染リスクを抑えるために、そして万が一罹った場合でも、クラスターを起こさないように、なお一層強い対策を講じています。

長い間我慢を続けている大多数のうちの一人として、そして同じように我慢を強いられている子どもたちを預かる立場として、ニュースで度々目にする、深夜の酒場や路上での一部の大人の無神経な行動に腹を立てています。今回の緊急事態宣言で都立高校ではまたしても分散登校と部活動の中止を決定しました。感染拡大に繋がる大人の身勝手な振る舞いのあおりを、罪の無い子どもたちが受けている事実は何ともやりきれない思いです。もちろん報道される映像で全てを判断してはいけなはいとは思っていますが、向けられたマイクに個人の自由や権利、コロナ疲れや強制力のなさを盾に、悪びれもせずに「この対策は意味が無い」などと言いながら、政府からの要請に平然と背く行為は多くの人の努力を踏みにじるものです。

度重なる自粛の要請にため息が出ることがあります。でも今こそ私たちは想像力を働かせ、様々なところで頑張っている方々のことを考え、独りよがりの言動を慎まなければなりません。患者の命を救うために寝る間を惜しんで努力を続けているお医者さんや看護師さんの気持ちに、一刻も早くワクチンを届けようと奔走している方々の気持ちに、この病で大切な人を失った遺族の方々の気持ちに、我慢を続けている大勢の人たちの気持ちに、思いを寄せる、思いを巡らすことが大事なのだと思います。

全ての学校で、全員が前を向き、誰ともしゃべらずに食事をする「黙食」を、もう1年以上も続けている子どもたちの気持ちを、あの大人たちには少しでも考えてもらいたいです。

各学年の紹介

第1学年「一心同体」

学年主任 高田 奈々

「才能の発見と伸長のサポート」および「学校と社会をシームレスに繋ぐこと」が学校教育が行うべきことだと考えています。そのため、まず第1学年では、一人一人の個性を尊重しながら、様々な経験を積み、「自ら学び、考え、行動できる人」になってほしいという想いで、この1年間の教科横断的な学習計画を立て、実践しているところです。総合的な学習の時間での東平外来種駆除活動や母島移動教室、働く人の話を聞く会などを通して、島内外で人々の暮らしを支える様々な大人と出会い、自分たちの将来を明るく展望してほしいと考えています。

また、生徒たちで考えた学級目標の「一心同体」には「みんなで心をつなげる。お互いを高め合う。」という意味が込められています。「助け合う」だけではなく、「高め合う」にはどうしたらよいかを考え、日々過ごしています。クラスメイトの前で自分の考えを発言するなど、初めは自信がなかったことでも、勇気を出して挑戦する人が増えたことで、日に日に1年生から発せられるエネルギー量の高まりを感じています。こういった成功体験を積み上げながら、大きく成長してほしいと願っています。

保護者会の際にもお伝えしましたが、ぜひご家庭でも中学校卒業を見据え、お子様がこの1年間で何をできるようになっていけばよいかということを本人と話し合いながら実践し、日々の成長を楽しんで見守っていただければ幸いです。また困りごとや嬉しかったことなど共有していただきながら、保護者の方々と「チーム1年生」として歩んでいきたいと思っております。これから1年間よろしくお願いいたします。



第2学年「Situation judgment（状況判断）」

学年主任 湯本 美樹

学校始まって以来の人数のこの学年も、いよいよ中堅学年となりました。活気があり、明るく元気な生徒たちは立派な先輩になりつつあります。部活動や委員会、全校吹奏楽の場面で、面倒見良く後輩に接している姿を見てみると、この1年間の成長が感じられ、とても嬉しくまた頼もしく思います。

今年の学級委員が考えたクラス目標は「Situation judgment（状況判断）」です。全員が、今は何をすべき時間や状況かを考えて判断し、それに応じた行動ができるような力を身に付けることを願って考えました。2年生の集団は、互いに声を掛け合ったりすることのできる温かな集団です。個の力を高めることと集団の力を高めることは、社会生活の両輪であるという考えから、今年度も「何事にも一生懸命頑張る」「良いことは良いと認め合い、悪いことは悪いと注意し合える」ことを目標にし、生徒の成長に関わっていきたいと考えています。

学年教職員一同、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、精一杯教育活動に携わっていきたいと考えます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



第3学年「チャレンジ&カバー ～niceな思い出を～」

学年主任 宮本 寛信

4月から最上級生になり、身体的にも、精神的にもさらに大きくなったように見えます。1年生と比較すると、その差は歴然です。2年前は今の1年生のように体も小さく、優しい先輩に様々なところで助けられていたことを思い出します。

「学習に意欲的に取り組み、自主自律できる生徒を育てる。」を学年学級経営方針の第1に掲げて3年目。集大成の年になるように、本年度も日々の生活を大切にしていきます。まだまだ世界や社会が不安定です。自分で自分の事を律し、自分で未来を切り開ける人になることを目指していきます。

今年の学級目標は「チャレンジ&カバー ～niceな思い出を～」です。3年生にはこの1年でたくさんの思い出をクラス全員で作っていったほしいと願っています。

最後に、保護者の皆様にはいつも深いご理解をいただき、ご協力に感謝しています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



交通安全教室

生活指導主任 麻生 直人

4月13日（火）に小笠原警察署の方を講師にお迎えして、全校生徒を対象に交通安全教室を行いました。DVDなどの映像を見ながら、自転車の安全な乗り方などをわかりやすく教えていただきました。自身の自転車の乗り方を見直すいいきっかけになったのではないかと思います。小笠原中学校で自転車登校が始まり25年以上が経過しようとしています。今まで安全に登校して来られたからこそ、自転車登校が成り立っています。気を付けていても交通事故に遭ってしまうことがありますから、これからも細心の注意を払って登下校をしてほしいと思います。地域・保護者の皆様におかれましては、これからも本校生徒の自転車登校にご理解とご協力をお願いいたします。もし中学生の生徒の登下校の仕方でお気付きの点がありましたら、いつでもご連絡ください。今後も生徒の安全な登下校のために、見守りをよろしくお願いいたします。



情報モラル教室

生活指導主任 麻生 直人

4月26日（月）に情報モラル教室がありました。本来であれば講師の方に学校にお越しいただき、体育館にて全校生徒にご講義をいただく予定でしたが、台風2号の影響によりおがさわら丸の出港が早まったため、急遽オンラインによる遠隔授業に切り替わりました。

スマートフォンのもつ利便性の裏側にある危険性や注意点について、とてもわかりやすくお話をいただき、生徒も集中してお話を聞き、中にはメモを取りながら聞いている生徒もいて感心しました。これを機に、今一度ご家庭でもスマートフォンへの関わり方について話し合っただけたらと思います。



生徒一人一台のICT機器の導入と活用

視聴覚・コンピュータ担当 宮本 寛信

ノート、タブレットなど様々なスタイルで使える一人一台のChromebook（パソコン）と、各教室のネットワークが本年度より整備されました。学習の課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析・表現・制作・推敲しながら、文書の作成、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作、遠隔教育を担保し子供たちが多様な考えに触れる機会やコロナ禍におけるリモート授業の対応、情報モラルを意識する機会の増加などを目的としています。

本校では早速、授業に取り入れて活用しております。今後もこの新しい機器や環境を活かし、より深い学びの場を提供できるようにしてまいります。



令和3年度 前期生徒会・委員会

生徒会担当 山浦 康志

4月27日(火)に生徒会総会が行われました。小笠原中学校の生徒会は4月から9月までの「前期」と10月から3月までの「後期」で活動しています。今回は昨年度の後期の活動報告と今年度前期の活動計画の提案を行いました。ここ数年、委員会活動が活発になってきており、今年度も新たな取組や生徒の意見を取り入れた活動を計画している委員会が多くあり、とても楽しみです。

今年度の生徒会の役員会・委員会の想いが詰まったスローガンが右のとおり決まりましたので、ご覧ください。

	活動目標・スローガン
役員会	同心協力
1年学級委員	一心同体
2年学級委員	Situation Judgment ～一人一人がその場に応じた行動・態度をとろう～
3年学級委員	チャレンジ&カバー ～Niceな思い出を～
生活委員	安心安全 Enjoy Our School Life
美化委員	No cleaning, No school life 掃除しない学校なんてありえない
保健委員	手洗いうがいでコロナを予防しよう
放送委員	みんなに楽しんでもらえる放送をしよう ～アナウンサーと化した放送委員会～
図書委員	みんなが楽しめる図書室
体育委員	一致団結
福祉委員	Happy world 3R ～リユース, リデュース, リサイクル～

	第1学年		第2学年		第3学年	
役員会						
学級委員						
生活委員						
美化委員						
保健委員						
放送委員						
図書委員						
体育委員						
福祉委員						
選挙管理委員会						

◎委員長 ○副委員長 ◆書記

5月の行事予定

3日(月) 憲法記念日 バドミントン島しょ大会	20日(木) お弁当の日 耳鼻科検診 SC勤務
4日(火) みどりの日	21日(金) 夜明山戦跡調査予備日(2年)
5日(水) こどもの日	22日(土) 土曜授業日 学校公開終
6日(木) 学校朝礼 自転車安全点検 SC勤務 職員会議 GW学習記録プログラム終	24日(月) 学校朝礼
7日(金) 避難訓練 プール清掃 各種委員会・中央委員会	26日(水) 校内研修
10日(月) 生徒会朝礼 安全指導 村学力テスト	27日(木) 全国学力・学習状況調査(3年) 各種委員会・中央委員会 SC勤務
12日(水) 食育講話	28日(金) AED講習
13日(木) 夜明山戦跡調査事前学習(2年)	29日(土) 英語検定一次
14日(金) 夜明山戦跡調査・事後学習(2年) 小笠原高校訪問(3年)	30日(日) PTAノロ落とし
17日(月) 学校朝礼 学校公開始	31日(月) 生徒会朝礼
18日(火) 内科検診	※5月30日(日)から予定していました修学旅行(3年)は、10月7日(木)～16日(土)に延期が決定しました。
19日(水) 芝生の日	